

第三次盛岡市総合計画（1995年（平成7年）3月策定）

■総合計画策定の目的と構成

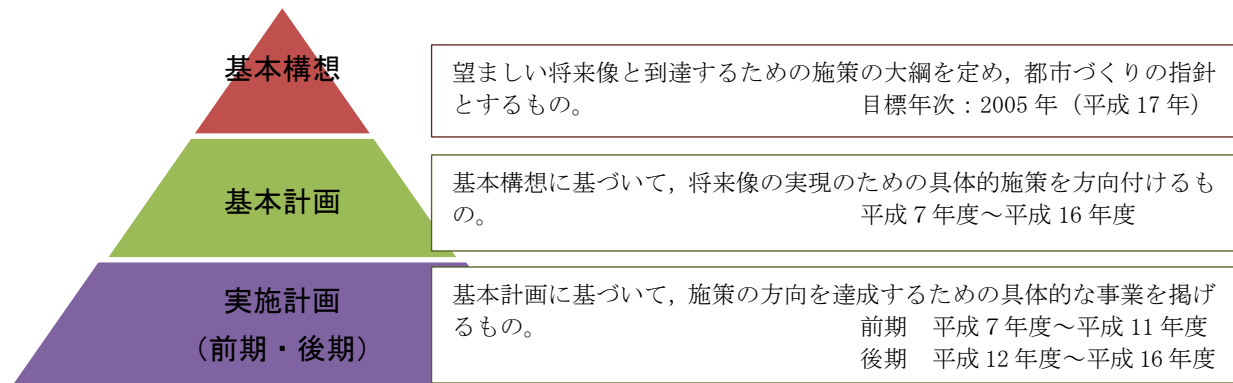
本市では、1984年（昭和59年）に基本構想を定め、これに基づく盛岡市新総合計画を策定し、1995年（平成7年）を目標年次として各般にわたる施策を推進してきました。

この間、1989年（平成元年）に市政施行100周年を迎え、1992年（平成4年）には都南村との合併を実現し、新しいまちづくりへの道を拓きました。

一方、著しく変化する社会経済情勢のもと、市民は生活環境の一層の質的向上や多様な都市生活の利便性を求め、ゆとりと快適性を持つ都市づくりへの要望が高まっています。

このような情勢を踏まえ、新世紀に向けての都市像とこれに到達するための施策を定め、総合的・計画的な行政を推進し、平和で豊かな市民生活を築くとともに、地域社会の振興発展に寄与することを目的とします。

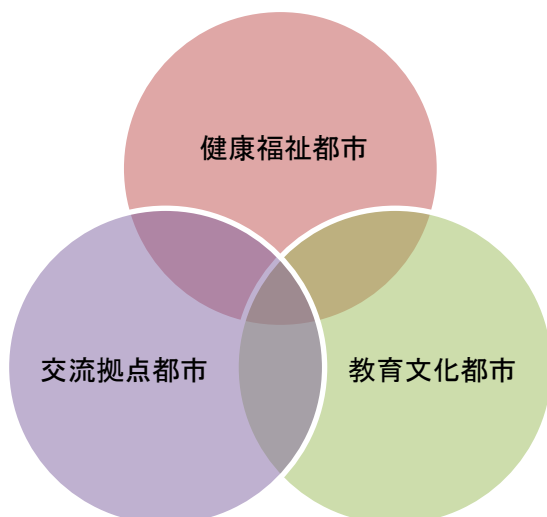
■総合計画の構成



◆計画の実効性と弾力性を確保するため、前期・後期それぞれ5か年の実施計画を策定し、これを毎年度向こう3か年間の見直しを行うローリング方式により点検を行います。

■盛岡市の将来像

都市像：市民共通のまちづくりの目標として、次の3つの都市像を掲げます。



『人が集い活力に満ちた北東北の交流拠点都市』

国土の縦軸、横軸における人、物、情報の交流が活発に行われる北東北の拠点都市を目指します。

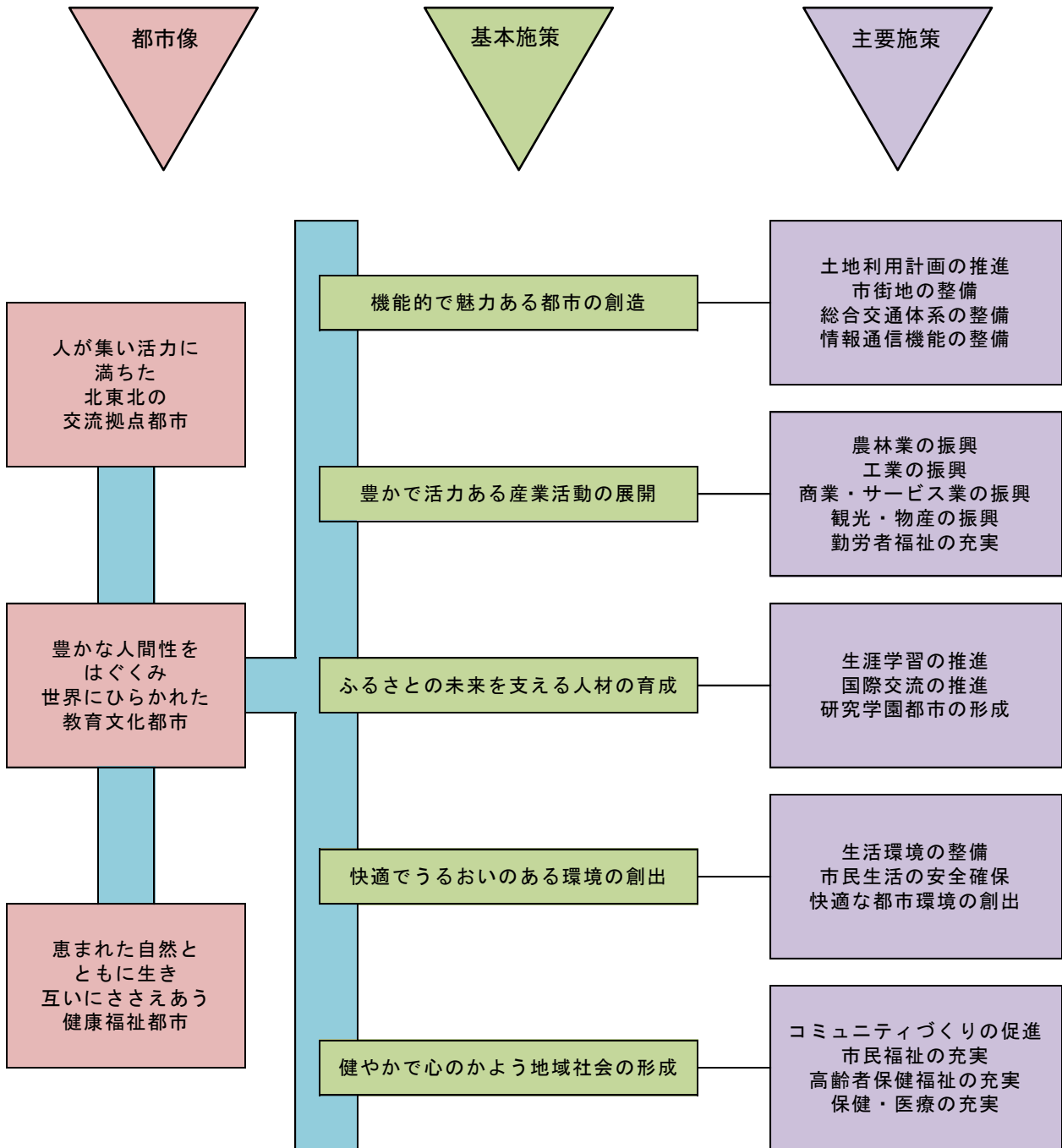
『恵まれた自然とともに生き、互いにささえあう健康福祉都市』

恵まれた自然と快適な環境で、地域の人々が互いに支え合いながら健康で生きがいをもって過ごすことのできる都市を目指します。

『豊かな人間性をはぐくみ、世界にひらかれた教育文化都市』

創造性豊かな人間性をはぐくむとともに、伝統的文化や創造的文化を発信する世界に開かれた都市を目指します。

■施策の体系



都市像

基本施策

主要施策

人が集い活気に
満ちた
北東北の
交流拠点都市

豊かな人間性を
はぐくみ
世界にひらかれた
教育文化都市

恵まれた自然と
ともに生き
互いにささえあう
健康福祉都市

機能的で魅力ある都市の創造

豊かで活力ある産業活動の展開

ふるさとの未来を支える人材の育成

快適でうるおいのある環境の創出

健やかで心のかよう地域社会の形成

土地利用計画の推進
市街地の整備
総合交通体系の整備
情報通信機能の整備

農林業の振興
工業の振興
商業・サービス業の振興
観光・物産の振興
勤労者福祉の充実

生涯学習の推進
国際交流の推進
研究学園都市の形成

生活環境の整備
市民生活の安全確保
快適な都市環境の創出

コミュニティづくりの促進
市民福祉の充実
高齢者保健福祉の充実
保健・医療の充実